

令和6年度 第2回 静岡市立日本平動物園運営委員会議事録

日 時 令和7年3月 24 日(月) 午後2時 00 分から午後3時 30 分まで

場 所 日本平動物園 2階 大会議室

出席者 運営委員:小山委員長、田宮委員、永岡委員、野上委員、増田委員、山崎委員

事務局 :竹下参与兼日本平動物園長、金澤飼育担当課長兼飼育第2係長、山本参事兼園長補佐、
岡村飼育第1係長、山田動物病院係長、望月主査、鷲巣主査、野田主査、太田主事

オブザーバー:一般財団法人 静岡市動物園協会 榊原事務局長

傍聴者 :2人

内 容

- 1 開会
- 2 園長あいさつ
- 3 議事等
 - (1)令和6年度事業実績(見込)等
 - (2)令和6年度事業報告
 - (3)令和7年度事業計画
 - (4)コレクションプラン改定について
 - (5)その他
- 4 事務連絡等
- 5 閉会

< 議 事 録 >

【開 会】

(司会:山本参事)

会議は公開とすること、傍聴者は定員3人のところ2人であること、委員の出席は7名中 6 名であることを報告。

【園長あいさつ】

(竹下園長)

春休みを迎え、しばらくするとゴールデンウィークとなり、本格的な行楽シーズンも到来するので、さらなる賑わいを期待しているが、春先の入園者数の多い 3 月は長雨に見舞われ、例年に比べ入園者数の伸びが良くない状態であった。

また、3月7日にオランウータンのジュリーが亡くなったことから、市長定例記者会見でも話題に挙がった。市長からも亡くなったことはとてもかなしい、動物園にとっては人気動物の展示は欠かせないと発言もあった。種の保存の観点からも、人気動物や希少種の飼育展示の継続は動物園にとって重要であるが、検疫などの関係から海外からの導入は難しい環境にあるため、国内の他の園館と一層の協力をしていく必要があると考えている。

【議 事】

(小山委員長)

規則に基づき議長を務める。会議が円滑に進むよう委員各位の協力をお願いしたい。

次第に沿って項番3の(1)から(4)の令和6年度事業実績(見込)等などについて一括して概要説明をお願いする。

【事務局説明】

資料を基に各項目について補足説明。

議事(1)令和6年度事業実績(見込)等(説明:山本参事)

① 令和6年度の入園者数について

令和6年度の入園者数は、2月末現在で35万3千671人となっているが、3月23日現在38万4千895人となっている。前年度同日比で96.2%、15,149人の減となっている。

議事(2)令和6年度事業報告

① 入園者数の推移について(説明:山本参事)

令和7年3月の見込み入園者数を46,500人としているが、3月23日現在31,224人のため、同月の見込み入園者数は40,000人を見込んでいる。

そのため、今年度の入園者数の総計は、40万人弱程度と考えている。

② 主な事業実績について(説明:山本参事)

主な事業実績は記載のとおり。

新たな試みとして、8ページ下段の「静岡市ろうあ協会」との連携イベントだが、9月23日の「手話言語国際デー」にちなみ、9月の第3土曜日の「国際レッサーパンダデー」及び9月21、22日の「夜の動物園」との日程も近かったことから、この時期の連携イベントを企画した。普段あまり触れる機会の少ない手話だが、動物ガイドなどを通じて学べるとあって、大変多くの皆様に楽しんでいただいた。

10ページから13ページの企業・大学・地域との連携事業等実績だが、本事業の実施により、新たな魅力の創出や来園者サービスの向上を図ることができたと考えている。

また、今年度も多種多様な御寄附をいただき、感謝申し上げます。

③ 教育・環境教育について(説明:金澤飼育担当課長)

幼児動物教室や出張動物園ガイドなどの教育プログラムの実施のほか、静岡県立静岡農業高校生への幼児動物教室模擬体験教室や静岡大学グローバル共創科学部の学生への講義を実施した。その下、5 展示動物の近況報告については記載のとおりです。

④ 展示動物の近況報告について(説明:金澤飼育担当課長)

繁殖に向け、ホッキョクグマ、レッサーパンダのペア同居を開始した。ホッキョクグマ及び和、ニコのペアの交尾行動を確認している

⑤ 繁殖、来園・出園動物について(説明:山田動物病院係長)

15、16 ページからの「繁殖動物」「来園出園動物」及び「死亡動物」については記載のとおり。
来園動物では、横浜市繁殖センターから迎えたカンムリシロムク3羽と当園で飼育している1羽での2ペアで繁殖を推進している。また、レッサーパンダをはじめとする当園からの出園動物も、出園先の動物園で繁殖推進を担っている。

死亡動物については、記載の2個体のほか、3月7日にオランウータンのジュリーが死亡した。死因については、現在病理検査をしており、調査中である。

⑥ 修繕業務について(説明:鷺巣主査)

大きく2つの施設修繕を実施した。ひとつ目は、山麓山頂駅舎改修修繕で、駅舎に設置してあるウッドデッキの老朽化が著しいため、その修繕を実施。ふたつ目は、類人猿舎等冷暖房設置修繕で、チンパンジーや小型サルの獣舎には冷房設備がなく、夏季の室内温度が30度を超えることもあるため、動物福祉の向上及び飼育環境の改善を図るため冷房設備を設置した。

そのほかの主な修繕は記載のとおり。

議事(3)令和7年度事業計画

① 主要事業(説明:山本参事)

令和7年度の事業計画の主要事業は記載のとおりで、これまでどおり動物園の使命である4つの役割について取り組んでいく。

② 主な施設修繕(説明:鷺巣主査)

令和6年度に引き続き「山麓山頂駅舎改修修繕」と、新たに「猛獣館・新ホッキョクグマ舎ろ過機修繕」などを予定している。

③ 借用動物期間更新等調整業務(説明:岡村飼育第1係長)

ホッキョクグマのロツシーはロシアのレニングラード動物園より借用しており、その期限が令和8年3月30日で満了する。同個体は、当園屈指の人気を誇る個体であり、当園としても継続的な飼育展示を行っていきたいため、借用期間の延長等に関する協議をレニングラード動物園と行っていく。

④ 日本平動物園サポーター制度(説明:山本参事)

日本平動物園サポーターについて、来年度も募集受付を行い、8月と来年1月からの認定を行う予定。

⑤ ゴールデンウィーク期間の駐車場事前予約(説明:山本参事)

今年のゴールデンウィークより、期間中の駐車場利用を事前予約制とする。例年ゴールデンウィーク期間中、駐車場待ちの車両による園周辺道路の大渋滞が発生していることから、根本的な渋滞対策を目的に実施するもので、これにより、無料シャトルバスの有効的な運行も見込まれる。

対象期間等は記載のとおりで、日本平動物園ホームページから4月1日より申し込み開始予定。

議事(4)日本平動物園コレクションプラン改定について(説明:山本主査)

日本平動物園のコレクションプラン改定に関する検討結果について、中間報告させていただく。

① コレクションプランとは

日本平動物園は「いのちを感じ、次世代につなぐ動物園」を基本理念に掲げ、動物たちが幸せにより生き活きと暮らせるよう「動物福祉」の向上を飼育管理の基幹方針とし、動物園が目指す「保全」「教育」「調査研究」に取り組んでいる。しかし、動物園が持つ施設スペース、資金、労力などの資源には限りがあり、飼育動物を無制限に拡大することはできない。そのため限られた資源を有効的に活用するため、どの動物を飼育展示するかを選定する飼育管理計画、すなわち「コレクションプラン」を定めておく必要がある。今後の日本平動物園での飼育動物の方向性について、コレクションプラン基本方針に基づき、飼育動物種を5つのカテゴリーに区分し、「日本平動物園コレクションプラン」を改定するため、現在園内協議を行っている。

② 基本方針

コレクションプランの基本方針については、次の7項目を基本に調整している。

- ア 日本平動物園将来構想に基づき、動物種を選定する。
- イ 日本動物園水族館協会のコレクションプランに準拠し、現有動物の継続飼育を優先する。
- ウ 今後の入手可能性を考慮する。
- エ 比較展示の効果を高める動物種の導入を図る。
- オ 飼育の容易性、困難性を考慮する。
- カ 当園での繁殖可能性(敷地面積、獣舎環境等)を考慮する。
- キ ふれあい動物園に関しては、子どもに人気がある動物種及び安全にふれあえる動物種とする。

③ コレクションプランカテゴリー

動物種を哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類の区分に分け、次の5種のカテゴリーで調整していく。

- ア 最優先種 …… 特に積極的に繁殖を推進し、域外保全に貢献する種
- イ 優先種 …… 計画的に繁殖を進め個体数を維持し、域外保全に貢献する種
- ウ 維持種 …… 繁殖は推進せず、展示を主な目的に飼育を継続する種
(他園で繁殖した個体の一時預かりなど、域外保全に間接的に貢献する動物種も含む)
- エ 調整種 …… 個体群の維持が困難であり、動物福祉の観点から飼育展示の見直しが必要な種
- オ 検討種 …… 域外保全等に貢献するため、新たに導入することが期待され、今後調査・検討を行う種

④ カテゴリー毎の種案について

現時点におけるカテゴリー毎の動物種の素案だが、

最優先種については、該当なし

優先種については、哺乳類では、ツチブタ、マレーバク、バーバリシープ、アカテタマリンをはじめとする小型サル種、鳥類ではモモイロペリカンやサイチョウ、オニオオハシなど、主に

フライングメガドームや熱帯鳥類館で飼育している種を検討している。

維持種については、タンチョウやホオジロカンムリヅルなどを検討している。

調整種については、シロサイ、ジェフロイクモザル、シロガオサキ、アクシスジカ、ダチョウ、インドクジャクなどを検討している。

検討種については、フタユビナマケモノ、クロサイ、ヤクシカ、カンムリシャコ、オウギバトを検討している。なお、現在当園で飼育しているレッサーパンダやホッキョクグマ、オオアリクイ、アジアゾウ、ライオン等のネコ科動物、ハクトウワシ等をはじめとする鳥類及び爬虫類・両生類全般については、継続的な検討を行い、適切なカテゴリーに分類していく。

なお、ただ今説明したカテゴリー毎の動物種は、基本方針及びコレクションプランカテゴリーに準じて、現時点で想定している案であり、適宜修正、変更をしていく。

事務局からの説明は以上。

【 質 疑 応 答 】

(小山委員長)

事務局の説明について質疑を行う。

(永岡委員)

- ① 資料1ページの令和6年度入園者数実績予定からみて、令和7年度の目標は高い目標を掲げているので頑張っていたきたい。令和7年度当初予算額が前年度よりも 2,000 万円ほど低くなっているのは、入園者数が減少したためか。
- ② 甲信越方面への広報強化とあるが、これは市の方針なのか。どこかと連携して行う予定なのか。
- ③ 手話や福祉関係の取り組み、企業大学地域との連携など、市の施設として良い取り組みだと思う。動物総選挙のイベントは反応が良かったと思うが、どこの発案か。
- ④ 種の保存や教育・環境教育、調査研究への取り組みを頑張っていたきたい。レクリエーションにおいて、団体誘客促進のための営業活動とあるが、具体的なプランはなにかあるのか。
- ⑤ コレクションプランについて、クモザルやシロガオサキなどがあるが、動物福祉の観点から調整種になるのかと思うが、大変希少な種だと思う。検討種にクロサイがあるが、これはシロサイに比べクロサイの方が入手しやすいからか。

(事務局：山本参事)

- ① 令和 6 年度より令和 7 年度予算が 2,000 万円ほど減額となっている件は、令和 6 年度にまとまった施設修繕があったためである。
- ② 静岡市と山梨県の市町村との協定があり、そこを通じて動物園まつりのチラシを配布している。
- ③ 1年ほど前に選挙管理委員会から今回の市議会議員選挙を盛り上げるために、動物園となにかできないかという相談があった。これとは別に、当園から静岡中部 5 市 2 町の補助事業に動物

園を盛り上げるための取り組みをエントリーしたところ、常葉大学、静岡英和学院大学、静岡産業大学から手が挙がった。そちらと協議をしていった中で、常葉大学と連携して実施することとなった。

- ④ 現在も地元三菱電機株式会社静岡製作所様と福利厚生の一環で当園への団体入園を 1,000 人規模で利用いただいている。こちらを好事例として、日本生命保険相互会社様やトヨタユニテッド静岡株式会社様にも御利用いただいた。このほか静岡市が民間企業と結んでいる包括連携協定の相手方に展開した営業活動を予定している。

(事務局:金澤飼育担当課長)

- ⑤ 動物の繁殖飼育は、当園だけで継続的に繁殖飼育していくことが難しく、日本動物園水族館協会と当園を含む加盟園館とが協力していく必要がある。シロガオサキなどは希少な動物種であるが、当園で飼育している個体は高齢で、他園でも飼育数が限られているため、今後の繁殖推進が難しいことから、動物福祉に配慮しながら終生飼育としていく。シロサイについては、群れ飼育が基本となるが、当園の施設では雄雌の1ペアでの飼育が限界である。クロサイについては、1ペアで繁殖が期待できるため、現時点で検討種としている。

(野上委員)

- ① 日本平動物園の年間パスポートは 2,510 円だが、科学館る・く・るは 3140 円で、動物園は 1 回あたりはる・く・るより高いが、年間では安い。動物園の収益の面からも 3,000 円くらいまで上げてよいのではないか。
- ② 現在キリンの飼育がないことが寂しい。現在獣舎が空であるが、ほかの動物の飼育は予定があるのか。
- ③ チラシの配布は、目にする機会があれば興味が沸くと思うのでよいと思うので、配布先をもっと拡充してはどうか。

(事務局:山本参事)

- ① 動物園の施設使用料については、静岡市全体の公の施設利用料の見直しにおいて今後検討していきたい。
- ③ 企業連携の一環で、日本生命保険相互会社様の保険のセールスパーソンが当園のチラシを配布してくれることとなった。これを好事例として、新たな配布先の獲得のため、他企業様に営業をしていきたい。

(事務局:岡村飼育第 1 係長)

- ② キリンの展示がなくなって 2 年ほど経つ。昨年度1年間をかけて飼育員や獣医師で、キリン舎の今後をどうしていくかの話し合いを行った。キリンは原則群れで飼育する、3 頭以上での飼育が望ましいとされており、またそれに見合った広さのある飼育面積が必要となるが、当園の獣舎では狭く、そこで複数頭を飼育することは、現在の動物福祉の観点からも好ましくない。日本動物園水族館協会でも適正施設ガイドラインを定めており、これに適合した施設がない当園の状況から現時点での新たな導入は止めることとした。この結果については、キリン舎に

も掲示をしている。一方でキリン舎の有効活用として、園内の他の動物を飼育して動物福祉の向上に繋げることも検討した。検討例として、ハイエナが挙がったが、猛獣ということもあり、安全面等に適した獣舎に改造することが困難であったため断念した。その後、オオアリクイ舎の修繕のため、一時的にオオアリクイを飼育していた。飼育上は問題なかったが、元々がキリンを飼育するための施設であったため、来園者から見づらいといった十分な展示効果が得られなかったという結果であった。現在も他の動物への転用が可能かを継続検討しているところである。

（山崎委員）

長雨等の影響で来園者数の落ち込みがあったそうだが、雨でも楽しめるスポットや活動的になる動物はあるか。

（事務局：山本参事）

当園の特徴として猛獣館 299 やは虫類館などの屋内施設があるため、雨でもゆっくり観覧できることを売りとしている。

（事務局：金澤飼育担当課長）

雨で特別に活動的になる動物は、当園の飼育動物では思い浮かばない。

（事務局：竹下園長）

過去にも梅雨時イベントを実施したこともあったが、効果的な誘客までには至らなかったと思う。雨の日を活用した楽しみ方や誘客に繋がるような取り組みは、検討していきたい。

（事務局：山本参事）

動物園協会の実施事業であるが、雨の日や平日に来園すると貯まるスタンプカードを実施している。委員からも雨の日などの閑散日の誘客のアイデアを色々いただけるとありがたい。

（小山委員長）

雨量によると思うが、雨の日の入園者数はどのくらいか。

（事務局：山本参事）

熱心なファンの方も多いため、当園としては大変ありがたく、すごい土砂降りでも 100 人近い入園者がある。

（小山委員長）

大人は良いかもしれないが、子どもが濡れてしまった場合、親としてはとても気にかかると思うので、そのあたりの対策など必要かもしれない。

(田宮委員)

今年も天候不順が多く、野菜類の生育が悪かったと思う。動物園も困っていることがあるだろうから、売り物にはならないけれど、問題のない野菜を寄附するなど、日本平動物園を地域である程度支えていくことも必要だと思う。市の予算も厳しくなっていると思うが、教育の場としての日本平動物園のウエイトは非常に大きいと考えている。そういう部分への貢献度も高いと思うので、動物園も自信を持ってもらいたい。

(事務局:金澤飼育担当課長)

農家さんなどから規格外の野菜や、コストコホールセールジャパン株式会社浜松倉庫店様から牛肉の端材の寄附をいただいている。こうした協力は大変ありがたいので、今後も支援をお願いしたい。

(事務局:竹下園長)

入園者数については、四半期で見ると第1、第3四半期は昨年並みであったが、猛暑であった第2四半期と今年は静岡にしては寒さが厳しかった第4四半期が激減している。そういった意味でも天候の影響は大きかったと考えている。

光熱水費をはじめとする物価の高騰が重く押し掛かっているため、ぜひ野菜などの寄附について、地元の部農会への働きかけをいただけるとありがたい。

(事務局:山本主査)

1点補足。ただいま資料として配布させていただいたZOOしずおか最新号だが、本来は事前資料と併せて送付しておくべきものであったが漏れていた。お詫び申し上げます。ZOOしずおかは、事前送付した資料の13ページ、地域との連携 レッパークンのもぐもぐプロジェクトに関するものである。これは市の環境局と市内で活動する竹林整備団体のうち協力いただいている団体とそれらを取りまとめているNPO法人のベースプラスと当園が連携して実施している取り組みである。解決すべき課題はあるものの良い方向になるよう取り組んでいるところである。

(増田委員)

- ① コレクションプランの基本方針について、学校関係者のためふれあい動物園について気になるところであるが、今後導入する動物について、来園者等から希望をとるなど、来園者が好む動物種がコレクションプランに反映されるものなのか。
- ② 小学生6年生が将来就きたい仕事に獣医など動物に関わる仕事があった。色々なイベントを動物園で実施しているが、子どもたちは知らないことに触れるととても興味を持つので、これからも動物について子どもたちの見方を変えてくれるようなイベントを実施してもらいたい。

(事務局:山本主査)

来園者のニーズの高い動物であることも大事なことであると考えてるので、今後検討していく。

(事務局:山本参事)

動物総選挙の結果については、各区の 1 位はレッサーパンダ、ツチブタ、ホッキョクグマであったが、全体の3位はカイウサギであった。そういう意味では、ふれあい動物園の動物の人気の高いと感じているところである。

(小山委員)

- ① 動物総選挙について、チラシを見たときに好きな動物を選ぶものなのか、目的がチラシにも書かれていなかったなのでこのイベントの趣旨が分からなかった。ほかにも色々な動物がいる中で、候補に選ばれなかった動物たちがかわいそうに思った。こういう場合は日本平動物園で見られる動物を一覧で全て出して、どれが気になるのかを聞いたほうが良いと思った。レッサーパンダやホッキョクグマが出ていれば一番になるだろうと予測でき、実施する意味があるのかなと思っていたが、市議会議員選挙との関係と聞いてちょっと腑に落ちた。だけれども、これはどういう意味での選挙なのか、候補動物はどういう意味なのか。せっかくなら、マイナーだけれども見る価値ありといった動物が入っていたほうが、広報的にも良かったのではないかと思った。
- ② ゴールデンウィークの駐車場の予約制に関する周知方法について伺いたい。

(事務局:山本参事)

- ① 動物総選挙については、園内で多く飼育している動物全てを紹介することはできないので、同様の悩みがあった。単純な動物の人気投票は園内アンケートで把握しているため、これに関しては選挙管理委員会を含めた3者で協議し、アンケート結果等を提供した上で、学生の主体に委ねることとした。動物候補数については、参加学生の数にも限りがあったので、ある程度絞る形となった。動物の人気投票についてはどこの園でも実施しているが、本格的な選挙に模した例はないと思うので、珍しい取り組みであるとは思っているが、今後も実施する場合は、選挙の度ではなく、市議会議員選挙や市長選挙などでその時々でテーマを決めるなど、単なる人気投票にならないような工夫をしていく必要があると考えている。
- ② ゴールデンウィークの駐車場の予約制に係る広報については、1 月から当園ホームページ、SNS で周知を始め、その後広報紙3月号への掲載、今後交通広告を始めるが、これまでは市内のみであったものを県内のしずてつジャストラインの路線バスで掲出する予定である。このほか、呉服町のデジタルサイネージなど、対応可能な様々な媒体で周知広報に努めていきたい。なお、期間中の入園制限はないので、駐車場の予約がない場合は、東静岡駅からの無料シャトルバスを利用してもらえればと思う。

(小山委員長)

こうした取り組みは重要。トライアンドエラーがあると思うが、色々な対応をしてもらいたい。

(小山委員長)

このほか質疑がないようなので、これで終わりとさせていただく。
続いて、その他事項について説明をお願いします。

議事(5)報告：日本平動物園山頂広場の休止について(説明：鷲巢主査)

日本平動物園の本園と山頂広場を結ぶオートチェア施設について、老朽化が進み、駆動チェーンの伸びが許容範囲を超え、安全を確保できないことから、令和7年4月より休止とする。

また、それに伴い当面の間、山頂広場も休止とする。

同施設のこれまでの経緯は資料に記載のとおり。

同施設を含めた山頂広場の今後については、山頂広場に向かう方法として遊歩道があるが、山頂側のデッキ老朽化により現在閉鎖中。来年度5月当初頃よりデッキ撤去作業など遊歩道修繕を実施し、8月頃に復旧予定で、遊歩道利用再開後、山頂広場も再開予定。

オートチェアの駆動チェーンの修繕については約2億円程度かかると試算している。園としては、修繕を優先的に実施したい動物病院や獣舎もあることから、オートチェアを最優先して修繕すべき施設と位置づけることは難しいと考えている。

一方で、山頂広場は眺望も良く、一定の利用者数もあることから、広く意見を聴取した上で、令和7年度上半期には山頂広場全体の今後の存廃を含め、結論を出し、令和8年度以降の整備計画の見直しを行っていきたいと考えている。

(小山委員長)

事務局の説明について質疑を行う。

特段、質疑がないようなので、これで終わりとさせていただきます。